

2. 流域治水プロジェクト2.0の更新

流域治水プロジェクト2.0

～流域治水の加速化・深化～

- 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させる。このために必要な取組を反映し『流域治水プロジェクト2.0』に更新する。

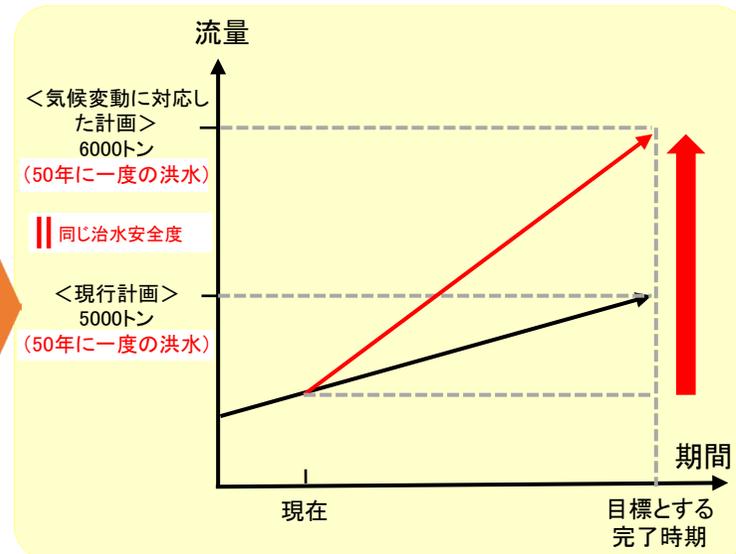
現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算
- 現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- インフラDX等の技術の進展

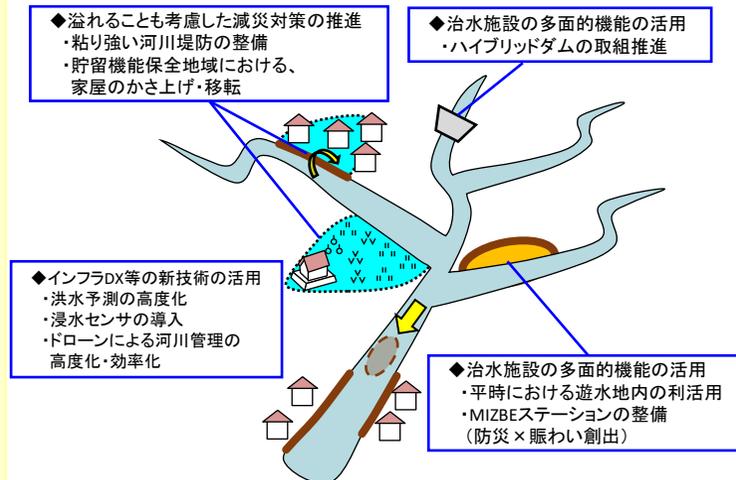
必要な対応

- 気候変動下においても、目標とする治水安全度を現行の計画と同じ完了時期までに達成する
- あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有する。

必要な対応のイメージ



様々な手法の活用イメージ



降雨量が約1.1倍となった場合

気候変動シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模)
2℃上昇	約1.1倍

全国の平均的な傾向【試算結果】	流量
	約1.2倍

同じ治水安全度を確保するためには、
目標流量を1.2倍に引き上げる必要

※現行の計画と同じ完了時期までに目標とする治水安全度を達成するため、
様々な手法を活用し、集中的に整備を進めることが必要

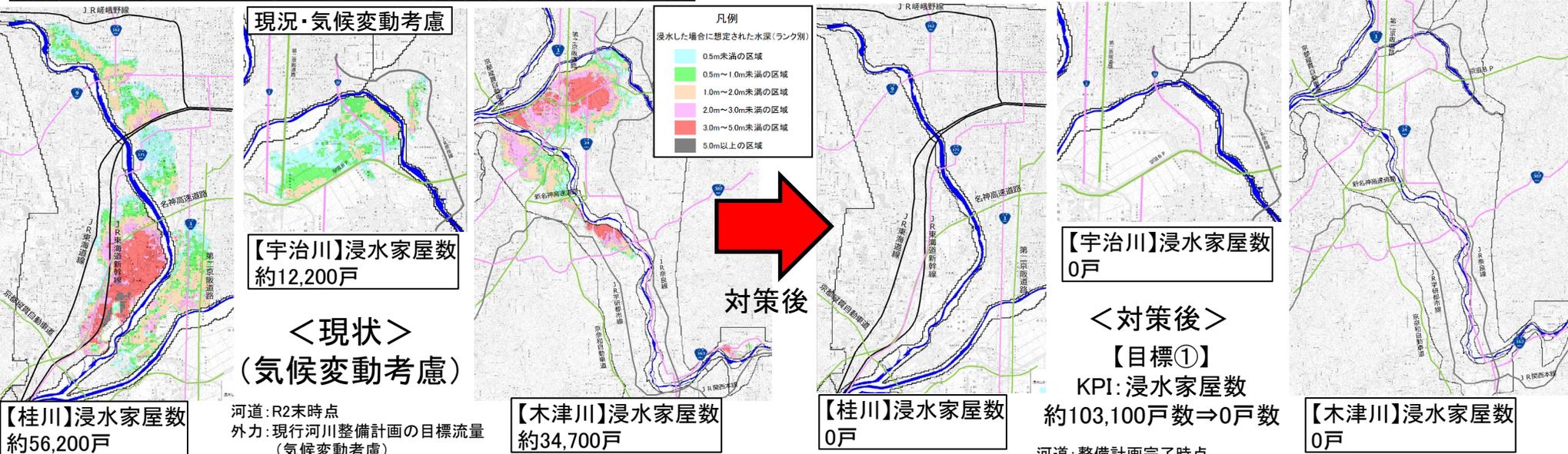
⇒現在の河川整備計画に基づく対策や流域における各取組を推進するとともに、気候変動を踏まえて追加で必要となる対策案の詳細については、更に議論を深めていく。

気候変動に伴う水害リスクの増大

○気候変動による降雨量増加後の河川整備計画目標洪水が発生した場合、宇治川・桂川・木津川では浸水世帯数が約103,100世帯になると想定され、事業の実施により、浸水被害が解消される。（『淀川水系河川整備計画(変更)令和3年8月』は気候変動による降雨量増加を考慮。）

■気候変動に伴う水害リスク

国管理区間からの外水氾濫による浸水範囲・浸水家屋数



<現状>
(気候変動考慮)

対策後

<対策後>

【目標①】

KPI: 浸水家屋数
 約103,100戸数⇒0戸数

■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

【目標①】気候変動による降雨量増加後の河川整備計画目標洪水に対する安全の確保

宇治川: 37.0k~53.1k、桂川: 0.0k~18.6k、木津川: 0.0k~37.2k

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ、 減らす	国	約103,100世帯の浸水被害を解消	河道掘削(宇治川): 61万m ³ 河道掘削(桂川): 455万m ³ 河道掘削(木津川): 26万m ³ 築堤(木津川): 1,600m	概ね30年
被害 対象を 減らす	長岡京市 京田辺市	水害リスクを踏まえたまちづくり及び居住誘導区域内の防災・減災対策による居住者の命を守る	立地適正化計画の見直し及び防災指針の策定 計画等に基づく対策の実施	-
被害の軽減・ 早期復旧・ 復興	国	土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討	多段階の浸水想定図(浸水頻度毎の浸水深図)及び水害リスクマップ(浸水深毎の浸水頻度)の整備	-
	淀川(京都府域)分会 全18市町村	円滑かつ迅速な非難の確保	要配慮利用施設の避難確保計画作成の促進と、避難訓練実施支援	-

【目標②】小川流域における内水被害の軽減(概ね1/20規模降雨の雨水出水による浸水被害を防止)

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
減らす、 防ぐ、 氾濫を	木津川市	小川流域の内水被害の軽減	ポンプ場等の排水機能整備等	概ね30年

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

- 淀川水系の京都府域では、宇治川、桂川において、平成21年に策定した旧河川整備計画の目標洪水を上回る平成25年台風18号を、木津川においては、気候変動の影響等を踏まえ、旧整備計画の目標洪水の降雨量1.1倍以上とした洪水をそれぞれ安全に流下させることを目指す。
- これまで、平成25年台風18号等による被害をふまえ、平成21年に策定した河川整備計画に位置づけたメニューを大幅に進捗してきたが、気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来にわたって安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法(以下、「法」)の適用を検討し、さらなる治水対策を推進する。

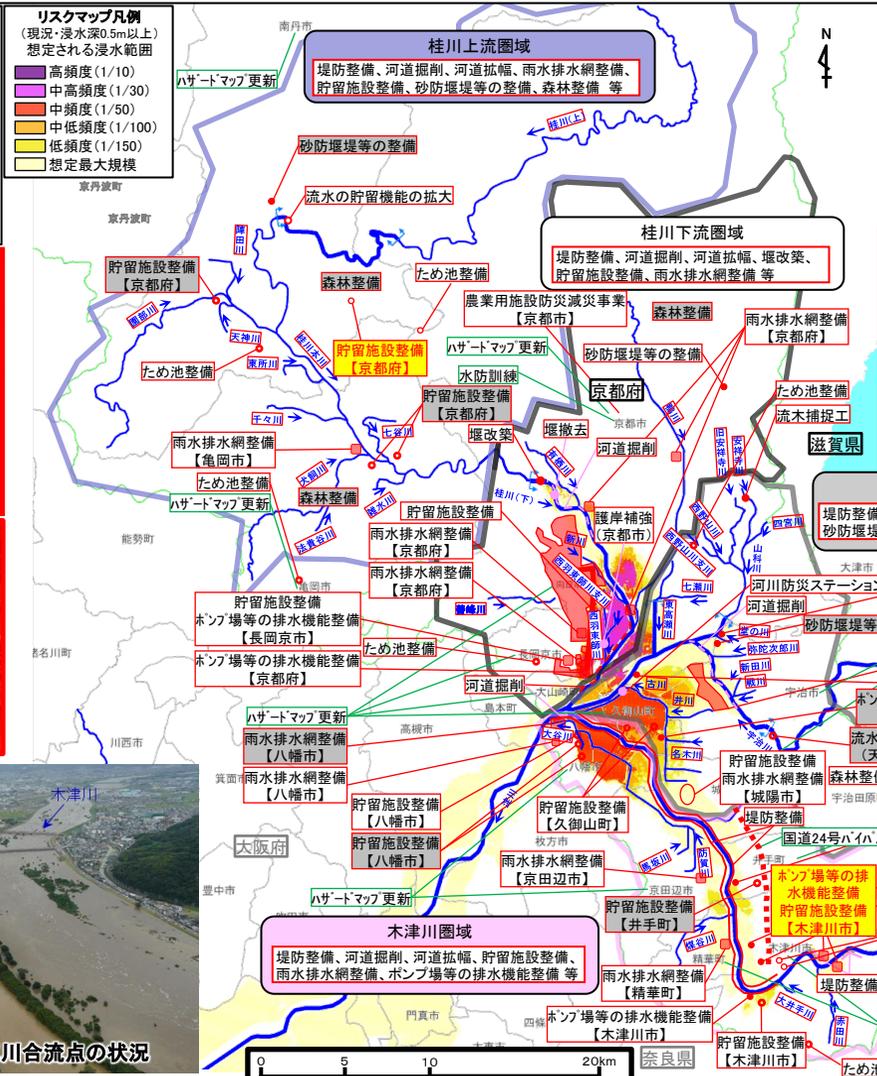
凡例

- 大臣管理区間・淀川河川事務所管理区間
- 堤防整備
- 河道掘削
- 堰改築、堰撤去、砂防事業等
- 県境
- 市町村境
- 貯留施設整備
- 雨水排水網整備等
- 道路整備
- 拡充された治水対策

リスクマップ凡例
(現状・浸水深0.5m以上)
想定される浸水範囲

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模

灰色着色: 対策完了



※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 堤防整備、河道掘削、堰改築、堰撤去、護岸補強
 - 砂防堰堤等の整備
 - 天ヶ瀬ダム再開発
 - 雨水排水網整備、ポンプ場等の排水機能整備
 - 流水の貯留機能の拡大
 - 事前放流等の実施・体制構築
 - 河川管理施設等の老朽化対策
 - 堆積土砂撤去
 - 河道内樹木の伐採
 - 森林整備
 - ため池等の整備、貯留施設整備
 - 農業用施設防災減災事業
 - 法指定による雨水浸透阻害行為の規制、貯留機能保全区域の指定の検討
 - 各家庭等における雨水貯留施設整備への助成
 - 開発行為に伴う調整池の設置
 - 排水機場の機能保全 等



- 被害対象を減少させるための対策**
- 水害リスクマップを活用した立地適正化計画及び防災指針の策定
 - 条例等に基づき計画している安全なまちづくり
 - 水害リスクマップの作成
 - 法指定による浸水被害防止区域の指定の検討 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 地区タイムラインの活用
 - 広域避難計画の策定
 - 要配慮者避難確保計画等の作成、支援
 - ハザードマップ更新
 - まるとまごハザードマップの整備
 - マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援
 - 分かりやすい防災気象情報の提供、改善
 - 舟運による早期復旧等
 - V・R・AR等を用いた情報発信
 - 三次元河川管内図の整備
 - 河川防災ステーションの平時利活用の推進
 - 排水機場等の遠隔監視・操作化、自動化
 - 水防訓練の実施
 - 避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
 - 「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策広域アクションプランに基づく適応策推進
 - 災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備
 - 雨量・水位観測装置の機能向上
 - 浸水センサの設置
 - 早期避難を支援する京都府内の水位・氾濫予測・ため池管理システムを構築し、制度検証(京都府管理河川を対象)
 - BIM/CIMなどの適用による三次元モデルの積極的な活用 等



※今後、関係者と合意形成を回り指定河川・流域を具体化していく。特定都市河川指定の工程等は、関係者との調整等により変更することがある。

※〇〇川は、整備中または整備予定の府・政令市管理河川を示したものである。

※浸水リスクを示す浸水範囲については、リスクマップを公表している淀川河川事務所管理区間のみを表示している。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会

氾濫を防ぐ・減らす	被害対象を減らす	被害の軽減・早期復旧・復興
<p>○気候変動を踏まえた治水計画 (2℃上昇下でも目標安全度維持) ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動を考慮した河川整備計画等に基づくハード対策 <p>○あらゆる治水対策の総動員 ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な雨水貯留施設(いろは呑龍トンネル)整備やそれに合わせた雨水排水網整備 ・流域全体における地下貯留施設や雨水調整池、ため池、遊水機能を有した公園、防災調整池等の雨水貯留施設の整備 また、公共下水道施設、下水道床上対策、排水路整備等の雨水排水網の整備 ・ポンプ場等の排水機能整備及び保全 ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成 <p>○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強い河川堤防の整備 ・貯留機能保全区域の指定の検討 	<p>○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーション整備 ・高台まちづくり <p>○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用や住まい方の工夫 ・防災指針策定による居住誘導区域内の防災・減災対策の実施 ・浸水被害防止区域の指定の検討 	<p>○気候変動を踏まえた治水計画 (2℃上昇下でも目標安全度維持) ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動を考慮した河川整備計画等に基づくソフト対策 <p>○溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害リスクマップに基づく土地利用や住まい方の工夫 <p>○多面的機能を活用した治水対策の推進 ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションの平時利活用の推進 ・陸上交通網の麻痺に備えた船着き場や大堰閘門整備による舟運での早期復旧 <p>○インフラDX等の新技術の活用 ＜具体の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用 ・三次元河川管内図の整備 ・浸水センサの設置 ・排水機場等の遠隔監視・操作化、自動化

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】

～みず・ひと^と繕る古都を支える流域対策の推進～

- 淀川水系(京都府域)の宇治川、木津川、桂川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰しつつ国、府、市町村が一体となって「流域治水」を推進する。雨の降り方次第で、三河川が同時にピーク流量を迎えることもあり、その際は三川合流点が流れにくく、各支川の水位上昇を助長する。このため、淀川水系中流域では三川合流点への到達流量を低減、水位低下を図る流域治水対策が重要であり、以下の手順にて推進する。
- 【短期】桂川と宇治川において河道掘削等を実施するとともに、天ヶ瀬ダム再開発及び川上ダムを完成させる。
- 【中期】引き続き桂川と宇治川において河道掘削等を実施するとともに、桂川の堰撤去と木津川の無堤区間の堤防整備に着手する。
- 【長期】河川整備計画で目標としている洪水を安全に流下させるため、引き続き河道掘削等を実施し、流域全体の安全度の向上を図る。
- あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水排水網、貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

※流域治水プロジェクト2.0で更新した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、堰撤去	淀川河川事務所 京都府 京都市	宇治川・桂川・木津川 河道掘削完了 (淀川河川事務所)		
	流水の貯留機能の拡大	淀川ダム統合管理事務所 琵琶湖河川事務所 大戸川ダム工事事務所 水資源機構	天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所) 川上ダム完成 (水資源機構)		
	雨水排水網整備 貯留施設整備 (下水道浸水対策事業含む) 等	京都府 久御山町、城陽市、向日市、亀岡市、大山崎町、京都市、宇治市、八幡市、井手町、京田辺市 等	【貯留施設整備】 雨水調整池の整備 (久御山町)	【雨水排水網整備】 排水路整備事業 (京田辺市)	【貯留施設整備】 雨水貯留施設設置 (城陽市)
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取り組み(立地適正化計画策定)	長岡京市 等	【雨水排水網整備】 下水道床上浸水対策事業 (京都市)	【貯留施設整備】 ため池整備 (京都市)	【雨水排水網整備】 公共下水道施設整備事業 (宇治市)
			計画変更 (長岡京市)	防災指針策定 (京田辺市)	【貯留施設整備】 遊水機能を有した公園整備 (亀岡市)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ作成・更新 まるごとまちごとハザードマップの整備、避難体制等の強化 等	気象庁、環境省 京都府、京都市、 木津川市、京田辺市、精華町、宇治原町、 和東町、笠置町、南山城村 等	避難所標識板の設置 (木津川市)	局地的豪雨探知システムの利活用促進と ゲリラ豪雨対策アクションプランに基づく対策の推進 (環境省)	
	災害救援に寄与する浸水エリア外の 道路ネットワーク整備	京都国道事務所	要配慮者避難確保計画の策定 (京田辺市)		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】

～みず・ひと繕る古都を支える流域対策の推進～

※流域治水プロジェクト2.0で更新した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
グリーンインフラの取組	生態系にも配慮した総合土砂管理の検討	近畿地方整備局	生態系にも配慮した総合土砂管理の検討		
	生物の生息・生育環境の保全再生	近畿地方整備局 京都府	生物の生息・生育環境の保全再生		
	ワンド保全・再生	近畿地方整備局	ワンド保全・再生		
	魚がのぼりやすい川への再生	近畿地方整備局	魚がのぼりやすい川への再生		
	砂州保全	近畿地方整備局	砂州保全		
	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援	近畿地方整備局	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援		
	和東町木津川かわまちづくり	近畿地方整備局	和東町木津川かわまちづくり		
	八幡市かわまちづくり	近畿地方整備局	八幡市かわまちづくり		
	伏見地区かわまちづくり	近畿地方整備局	伏見地区かわまちづくり		
	宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり	近畿地方整備局	宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり		
	保津川かわまちづくり	京都府・亀岡市※ ¹	保津川かわまちづくり		
	公共空間の整備	京都府	公共空間の整備		
	河川景観の保全	近畿地方整備局 京都府	河川景観の保全		
	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携	近畿地方整備局	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携		
	小中学校における河川環境学習の実施	近畿地方整備局 京都府	小中学校における河川環境学習の実施		
	住民団体等と連携した水生生物調査の実施	近畿地方整備局 京都府	住民団体等と連携した水生生物調査の実施		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※¹ スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※² 事務局は京都府・亀岡市。事業主体は保津川かわまちづくり推進協議会